

令和3年度
事業計画書

令和3年4月 1日

令和4年3月31日

公益財団法人庄内地域産業振興センター

令和3年度 公益財団法人 庄内地域産業振興センター 事業計画書

〔基本方針〕

我が国経済の先行きは、2021年1-3月期の緊急事態宣言の再発令の影響により、一時的にマイナス成長となる見込みであるが、宣言解除後の反動増に加え、G o T oキャンペーン等の消費喚起政策の実行により需要回復が見込まれるものの、少なくとも2021年中は感染拡大が継続する中で、一定の経済活動抑制が余儀なくされると思われ、ワクチン普及に伴う経済活動正常化の動きが先進国を中心に広がる2022年以降には、徐々に自律的な回復へ向かうものと予想されています。

地域の中小企業・小規模事業者においては、新型コロナウイルス感染症による深刻なダメージを被る中で、人口減少による消費減少、事業承継や人材確保の問題、コロナ禍でクローズアップされたデジタルシフトへの対応などの時代の変化により、事業者を取り巻く経営環境は一段と厳しくなっている状況です。

このような経済環境の中、当財団では、関係自治体や産業支援機関との連携協力を図りながら、地域企業のニーズやこれまでに実施してきた事業成果等を踏まえ、ものづくりの高度化、販売促進・取引拡大、新たな商品・サービスの創出支援など、以下の事業に重点的に取り組み、地域の中小企業・小規模事業者が抱える様々な経営課題解決に向けた支援に努めてまいります。

(重点事項)

1. 新たな価値創造に取り組む企業活動や創業への支援

山形県よろず支援拠点や鶴岡信用金庫との連携協力の取り組みをはじめ、関係自治体や他の産業支援機関との積極的な連携を図り、新たな価値の創造に取り組む地域企業や独創的なアイデアと行動力で創業をめざす起業家に対し、事業化や販路開拓等直面する経営課題の相談・アドバイスを行います。また、コロナ禍による苦境を顧みられた結果を受け、EC化やDX化の促進やIoT等の先進技術を活用するための実践型セミナーを実施し、新たな商品・サービス創出に向け活動・実践する企業を支援します。更にものづくり現場の生産改善等の相談・指導やその事例発表会の実施を通して、地域のものづくり企業の生産性向上を支援するほか、経営力強化・新事業創出をめざし有機的な連携を行う地域企業の取り組みに対し支援します。

2. 企業競争力向上・変革に対応できる産業人材の育成

職務別研修、ビジネス実務研修やものづくりの現場で力を発揮する生産改善・品質管理研修、事業経営人材研修等、地域企業をめぐる環境変化に対応した体系的な人材育成プログラムを実施し、地域企業の経営革新や新規事業に向けた取り組みの中核を担う産業人材の育成を支援します。

3. 産学連携によるバイオテクノロジーを活用した研究開発の促進と事業化の支援

慶應義塾大学先端生命科学研究所、山形大学農学部、県内公設試験研究機関等の先導的なバイオ研究シーズを活用したバイオ技術産業の創出を目指し、県内企業のニーズと学術研究機関のシーズのマッチングを図り、共同研究や産学官の研究交流等の促進による研究開発・事業化等の取り組みを支援するほか、国立がん研究センター、慶應義塾大学先端生命科学研究所の共同によるメタボローム解析技術を活用した新しいがん研究プロジェクトを推進いたします。また、ものづくり中小企業が研究機関との研究共同体を構成し、国の定める特定ものづくり基盤技術の高度化につながる研究開発・事業化に向けた取り組みを支援します。

4. 公の施設の管理運営・利活用の促進

施設の設置目的及び指定管理者制度に基づき、施設の適正な管理運営と積極的な広報宣伝に努め、利用者の多様なニーズに対応するとともに、企業研修やセミナーといった自主企画事業の実施により施設の有効利用を促進します。

I 公益目的事業

1 企業経営力強化支援事業（事業費 18,281 千円／鶴岡市・財団）

1-1 経営サポート・新事業支援事業（9,337 千円）

活力ある地域経済形成のため、独創的な技術・独自のアイデアによる起業や経営革新・生産改善をめざす地域企業に対し、課題解決のためのセミナーや専門のアドバイス等を行うほか、コロナ禍で得た新たな気づきと課題をもとに将来のビジネス創出に向けて戦略的かつ発展的な経営を目指す企業活動を支援する。

（1）経営実践セミナー等の実施

地域中小企業・小規模事業者の持続的な成長と収益力向上のため、次世代経営幹部を対象としたセミナー、I o T活用による生産性向上や顧客価値の変化に対応したEC化、DX化を推進する実践的セミナー等を実施する。また、県内産業支援機関・金融機関等との連携協力を図り、その特色を活かした各種ビジネスセミナーや相談会を共催し、地域企業の事業創出、課題解決に対し効果的な支援を行う。

（2）起業応援セミナー等の実施

鶴岡市の創業支援計画に基づく創業支援事業者として、地域の起業促進、起業マインド醸成のためのセミナーや起業の成長段階で必要とされる経営手法、マネジメント能力向上のための各種講座を実施する。

（3）改善指導コーディネーターによる製造業の生産改善相談・指導

コーディネーター・専門家が生産性向上、省力化といったものづくり企業のニーズに対し課題抽出と改善指導を行い、地域ものづくり企業の競争力向上を支援する。

（4）地域企業による改善活動事例発表会の開催

生産現場で改善活動に積極的に取り組んでいる企業の改善事例の発表や参加者による意見交換により、現場改善機運の醸成を図ることを目的に「改善事例発表会」を開催する。

1-2 起業家育成施設事業者・創業予定者への経営相談・助言（8,704 千円）

起業家育成施設入居事業者及び入居希望者に対し、経営課題解決のアドバイスや専門家による販路開拓指導等の支援を行う。また、起業家育成施設内に開設したコワーキングスペースにおいて、起業家・起業予定者等を対象とした起業・マネジメントに関するワークショップ、交流会、悩み相談会を実施し、起業気運醸成と起業課題解決に向けた支援を行う。

1-3 企業間・産学交流連携促進事業（240 千円）

経営者の相互交流による経営革新・取引連携の促進を目的に、時勢に即したテーマによる経営セミナーを実施する。

2 産業人材育成事業（事業費 12,672 千円／鶴岡市・財団）

2-1 企業立地産業人材育成事業（822 千円）

企業立地や製造業の事業高度化につながる、ものづくりの中核となる人材の育成を目的に、製造現場の生産性・品質向上等の各種研修を実施する。

（1）生産管理者・生産改善研修の実施

製造現場における生産性向上、品質管理に有効な手法や生産改善等に係る知識を習得する研修を実施し、製造現場の中核となる人材を育成する。

2-2 職業能力開発講座事業（11,850 千円）

職業に必要な技術、技能及び知識を習得する各種の教育訓練や研修等の機会を提供し、地域の企業で働く方々の職業能力開発と一層のレベルアップ、キャリア形成を促進することにより、地域企業の組織活性化、生産改善、新事業展開、経営革新に向けた取り組みのリーダーとなる産業人材の育成をめざす。

（1）職業能力開発講座の実施

仕事の現場で幅広く役立てられるビジネスマナー、コミュニケーション、対人関係構築、仕事の進め方、リーダーシップ、後輩指導、マネジメント等について、テーマを絞りスキルアップをはかるビジネススキルアップ研修や、職務レベルに応じた役割と責任を理解し総合的な仕事力強化をはかる階層別研修、業種・職種によって必要な仕事の専門性を高め資格取得をめざす研修等を実施する。また、地域企業が独自に行う社内研修に対し支援を行う。

（2）新社会人就職スタートセミナー等の実施

卒業後就職予定の高校3年生を対象に、新しい職場への定着をはかり、社会生活に必要な基本的知識、ビジネススキル、生活設計等を習得するセミナーを実施する。また、就職活動を控えた高校2年生向けに職業観の醸成と地域企業に対する就職志向の向上をはかる職業紹介セミナーを実施する。

3 産学共同研究等促進支援事業（事業費 323,351 千円／国・山形県・ 鶴岡市・財団）

3-1 バイオクラスター形成促進事業（298,699 千円）

山形県バイオクラスター形成推進会議（会長 山形県知事）の事業推進機関として、慶應義塾大学先端生命科学研究所（慶應先端研）、山形大学農学部や県公設試等の先導的なバイオ研究シーズを活用した共同研究プロジェクト創出による地域活性化をめざし、産学官連携のコーディネート、研究者間の交流推進や県内企業のバイオ研究開発を促進し、新規事業化・事業拡大の取組みを支援する。また、国立がん研究センター、慶應先端研のがんメタボローム共同研究の推進し、医療・健康関連産業の集積やベンチャー創出へ向けた取組みを支援する。

（1）産学官共同研究コーディネート活動の実施

慶應先端研の先導的なバイオ研究成果を活用した県内企業の事業化を促進するため、専門のコーディネーターを配置し、慶應先端研の研究シーズの県内企業への紹介、企業の事業化ニーズの調査や産学官連携の調整・推進等のコーディネート活動を通じ共同研究による商品開発・新事業創出を支援する。

（2）産学官研究交流事業の実施

バイオ関連産学官の連携基盤形成とバイオテクノロジーを活用した産学官連携による共同研究創出のため、産学官の共同研究成果を紹介する交流会・セミナー等を開催する。

（3）共同研究シーズ事業化支援事業

慶應先端研の研究シーズを活用した県内企業の事業化を促進するため、慶應先端研と県内企業との事業化に繋がる共同研究開発や研究成果品の販路開拓等の具体的な取組みを支援する。

（4）がんメタボローム研究推進支援事業

地方創生のための政府関係機関の地方移転の一環として国立がん研究センター、慶應義塾大学先端生命科学研究所が共同で推進する国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点のがんメタボローム研究プロジェクトを事業実施機関として推進支援する。

3-2 戦略的基盤技術高度化支援事業における研究開発推進事業 (24,652 千円)

地域中小企業のものづくり基盤技術の高度化を図るため、国の補助事業の事業管理機関として、産学官の共同研究体による研究開発と事業化の促進に取り組む。

4 伝統工芸技術等伝承・活用促進支援事業（265 千円／鶴岡市）

4-1 伝統工芸技術保存事業（80 千円）

地域伝統工芸のひとつである「竹塗り漆器」の振興と技術伝承のため、鶴岡竹塗り同好会の研修活動を支援する。

4-2 鶴岡お菓子まつり共催事業（185 千円）

食文化としての地域菓子文化の振興と菓子を視点とした多様なサービス産業創出を目的に、鶴岡菓子協同組合と「鶴岡お菓子まつり」を共催する。

II 収益事業

1 施設管理運営事業（事業費 10,009 千円／鶴岡市）

起業家支援・産業人材育成等の拠点施設である鶴岡市庄内産業振興センターの指定管理者として、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努め、会議室、研修室、ホール等の施設・設備の貸出業務を行うほか、施設の保守清掃など効率的な管理運営に努め、一層の利用促進と満足度の高いサービスの提供を行う。また、起業家育成施設については、各種支援事業の積極的な展開により、起業予定者の入居を促進し、事業の立ち上げを支援する。

III 法人運営事業（事業費 10,901 千円）

公益財団法人として今後も関係法令を遵守し責任ある法人運営に努めるとともに、限りある経営資源を有効に活用しながら、職員の能力や専門性を最大限に活かすため、組織や人員配置を柔軟に行い、事業の運営にあたっては、業務のPDCAサイクルを推進し、効率的・効果的な事業執行に努め、企業活動に有益な情報を受発信し、財団の認知度と利用者の満足度の向上を図る。